

公認屋内プール新設についての
平成27年タウンミーティング
レポート

公認屋内プール新設を考える会

まえがき

この報告書は「公認屋内プール新設を考える会」が主体となって行ったタウンミーティングでの意見交換会の意見を集約したものです。

タウンミーティングでは、3回にわたって、競泳関係者に加え、水中運動に関わりのある各分野の団体に声をかけさせていただき、ご意見をうかがいました。

うかがったご意見をとりまとめ、そのまま載せておりますので、ひとつの意見として整合性はとっておりません。

プールに対してさまざまな角度から、いただいたご意見をプール建築の参考にしていただけたら幸いです。

(プール)

○メインプールは 50m×25m プールが望ましい

- ・ 石丸から市内へ移転すると大幅な利用者増加が見込まれるため
- ・ 全国大会出場者が、夏季すら十分に 50m プールで練習できてない
- ・ 小学生の大会は 25m 方向に利用
- ・ 平時は 25m 方向で一般利用しやすいレーン分け

○レーン(コース)は 8 レーン以上(1 レーン 2m でプール幅 16m 以上)

- ・ 大会開催において最低 8 レーンが望ましい
- ・ 現在でも時間帯によっては混んでいる
- ・ 安全に泳ぐために必要
- ・ 大会のために可撤式のタッチ板(両端)、スタート台、表示板、ラップカウンターを設置

○サブプールは 25m×10m、深さ 1.2m

- ・ 平時はこれを 3 分割して、フロア(0.4m)を入れて高さを調節
一区画の幅 4m、長さ 12.5m が 4 つできる

水深 1.2m : 水中ウォーキング

水深 0.8m : 小学生低学年用

水深 0.4m : 幼児用

- ・ 大会時はフロアと仕切りを撤去して、ウォーミングアップ用プールとして利用
- ・ スロープ付き

(具体的には資料「新設プールに対する提言書」を参照)

○プールサイドにスロープ

- ・ 障害者、高齢者がプールへの出入りがしやすい

○飛び込み台側から 6mは 1.35m以上、残りの部分は 1m以上

- ・ 水深が深いと飛び込み時の安全が高まる
- ・ 水深が浅いと維持管理が安く、小児も使える

○目指す公認は一般プール・A（県大会）か標準プール（市大会）

（県大会の誘致を考えるのか否か、なお公認記録には差はない）

○浅いプールもほしい

- ・ こどもの成長に合わせて使い分けできる

○レーンのデザインが分かりやすい

- ・ 泳ぐレーン、歩行用レーン、水中運動用レーン等

○水泳競技と福祉関係、年少者、高齢者が共に利用しやすいプール

（深さの調整を、フロアで行う）

（観客席）

○選手観客の収容ができる大きさ

- ・ 新宇和島市小学生の市内水泳大会が、男女同時に旧市町分けることなく開催できる広さ
- ・ 県大会もゆとりを持って開催できる広さ

○障害者の競技大会も考えて、観客席へのアクセスも考慮する

(脱衣場)

○広い脱衣場

- ・ 重度障害者2～3名が、介助者と一緒に着替えられる広さ

○清潔である

○ボディードライヤー、水着脱水機

更衣室を常に衛生的に保つ為（床面の浸潤の緩和）の補助器具

(シャワー)

○男女共用シャワー

- ・ 障害者の介助者が同性ではない場合もある

(採暖室)

○高温と低温の採暖室

- ・ こどもでもしっかりと温まれるような低温の採暖室

(競技役員控え室)

○大会時は、競技役員の控え室

○平時は、会議室

(選手控え室)

○大会時は、競技選手の控え室

○平時は、会議室

(玄関)

- 車が玄関に直接乗り付けられる
 - ・雨天時に重度障害者を移動する際に雨にぬれず移動できる

(駐車場)

- プールの想定される利用者数に見合った大きさ

(長堀旧クリーンセンター (以下クリーンセンター) 利用について)

- プール建築を考えるには、建築物の構造による制限の調査が必要
(どの柱、壁が耐震構造を落とさない範囲で撤去できるのかなど)
- クリーンセンターだと、観客席を考えると25mが現実的
- クリーンセンターでは、大会時の駐車場と交通の便について問題が出てくるかもしれない
- 小学校の市水泳記録会になると、競技選手、観客が多いので検討が必要

(施設全域)

- バリアフリー
 - ・車椅子、バギーで駐車場、玄関からプールサイドまで移動できる
- 公認プールを作るのであれば、設計士と日水連の話し合いとなる
- 完成したら、作らない方が良かったというプールにしないように
- アイデアを持って多くの要望が満たせるようなプール
- 見かけよりも低コスト・機能的施設をめざす

(運営)

- 民間に管理運営を任せる、委託管理も考慮する
- 収支がとんとんを目指す方向性が大切
- 運営に関しての利用者の要望や声に柔軟に対応できる体制が必要
- 市の財政に負担をかけない方向性を目指す

(その他)

- プールを作るにあたって、行政に検討委員会を作ってもらおう
- 年間を通して泳げるプールは必要
- 石丸プールが営業している間に、新プールができるのが望ましい

公認屋内プール新設についての
平成27年
タウンミーティング レポート

平成27年12月21日

公認屋内プール新設を考える会

発起人 是澤政勝

愛媛県宇和島市恵美須町 2-5-8

Tel 0895-25-2323